

11) 技術開発

11-1) レベル1

==業績評価指標==

a) 責任性

補助者(技術開発プロジェクト担当者補佐等)として対応した。

b) 経験内容

次の細目の**1個以上**を**リーダーの下で行った実績**または**経験**をもつ。

- 1) 標準化戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する特許の情報を収集または分析し、その侵害を回避する研究開発の企画、実施、または評価を行った。
- 2) 自社の標準化戦略に従って必須特許とするための権利評価および研究開発を積極的に推進した。
- 3) 自己の研究開発担当分野について、標準化戦略案または戦術への情報提供を行った。
- 4) 特定の研究開発テーマについて、標準化戦略の立案を行った。

c) 成果内容(任意)

次の細目の**0個以上**の実績または**経験**をもつ。

- 1) 経験内容に示す業務(個人、グループのものを含む。以下同じ。)の結果、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した。
- 2) 経験内容に示す業務の結果、当該事業、技術の市場規模またはシェアを広げることができた。発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した。
- 3) 経験内容に示す業務の結果、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた。
- 4) 経験内容に示す業務を主力製品(サービス)または重要な特定のテーマ(将来のものを含む。)について行った。
- 5) 経験内容に示す業務の結果が最終的には経営層、株主等に参照されるに至った。

d) 社内外貢献

次の細目の**1個以上**を行った実績または**経験**をもつ。

- [[1] 後輩に対する育成指導または助言を行った。]]
- 1) 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
 - 2) 社内外の講習会(一般、子供、大学、企業または業界向けのセミナー、勉強会を含む。)における講師を担当した。
 - 3) 社内外の委員会(関連業界、関連官庁の委員会を含む。)にメンバーとして参画した。
 - 4) 担当業務または規格について論文を執筆した。
 - 5) 担当業務、製品もしくは規格に関する学会発表または展示会発表を行った。
 - 6) 情報規格に関する情報、規格に関する解釈、互換性に関する情報、自己の業務の経験を含む。)に関し、資料(新聞、雑誌、ウェブページを含む。)を作成し、または発信した。
 - [[8] 社内外関係者に対し、業務経験に基づくノウハウを提供した。]]

==業務能力評価指標==

e) 事業理解力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 企業戦略、事業戦略、研究開発戦略および知財戦略(オープンとクローズの戦略的使い分けを含む。)を理解し、関係のある標準化戦略を参照の上、**自己の業務**の位置付け(国内および国際の位置付けを含む。)を**最低限の範囲**で理解し、説明できる。[[1]、自己の業務に応用できる。]]
[[2] 自己の業務が、企業戦略、事業戦略、研究開発戦略および知財戦略(オープンとクローズの戦略的使い分けを含む。)、ならびに関係のある標準化戦略に対して、どのように貢献できるかを理解し、説明し、提案できる。]]

f) コミュニケーション力

次の細目を**1個以上**満たす。

- 1) 関係者**リーダー**、部署外の関係者を含む。)から円滑に情報収集、共有および交換できる。
- 2) 関係者**リーダー**、部署外の関係者を含む。)にわかりやすく説明できる。
- 3) 関係者**リーダー**、部署外の関係者を含む。)からの説明を正しく理解することができる。
- 4) 関係者**リーダー**、部署外の関係者を含む。)と連携し、協調すり合わせを含む。)できる。
- [[5] 関係者間で人脈を形成し、仲間作りをできる。]]

g) ネゴシエーション力

次の細目を**1個以上**満たす。

- 1) 交渉の場を設定できる(オフラインでの交渉アポ取り、場の設定を含む。)ができる。]]
- 2) 意見、主張等を**説明**できる。[[1]説得できる。]]
[[3] 意見または主張を引き出すことができる。]]
- 3) 争点を適切に把握[[1]、合意形成に向けて提言]]できる。(相手の意見、立場、方針を尊重し理解し、自社の守るべきボトムラインを理解し、妥協できる項目の優先順位をつけることを含む。))

h) 企画力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) **リーダーの下で**、現状(自社の標準化戦略を含む。)から課題を見い出し、その課題への独自の解決策(研究開発PJの企画または立案を含む。)を創出することができる。

i) リーダシップ

[[次の細目の2個以上細目を満たす。]]

- [[1] の問題点または課題を認識し、運営の方向性(関係者の意識付、関係者の指導、協議の場を設ける、参加者の積極的な参加または意見表明を促す、異論または反論に対して適切に処置議論の分離、次回の検討課題とする。)することを含む。]]を提示できる。]]
[[2] 異なる意見(各部門間の関係(各部門の戦略を含む。))、同業他社との競争共同関係、業界活動、国の標準化政策の違い)を含む。)を新たな視点で、見直し、全員で合意できる目標を提示することができる。]]
[[3] 関係者の立場を尊重し、進むべき方向に沿って関係者間の信頼関係を築くことができる。]]

j) 表現力

次の細目を**1個以上**満たす。

- 1) 業務に関する参照内容(論文、対象となる標準、会議内容、会話、質問、意見、メール、電話、法令、手続、動向、事例、課題、およびその他の関連情報を含む。)を必要な言語で(専門用語を含む。))、情報交換できる程度に理解し、業務分析、調査を含む。)を遂行できる。
- 2) 業務関係者との意見交換、情報収集、情報共有、交渉、報告書作成、議事録作成、メール)を遂行するために、必要な言語で、明瞭・簡潔・論理的・平易・的確に文章で説明(プレゼンテーション資料作成を含む。)できる。[[1]、説得できる。]]
[[3] 業務関係者との意見交換、情報収集、情報共有、交渉、議事進行、会話、発言、電話、プレゼンテーション)を遂行するために、必要な言語で、口頭で、明瞭・簡潔・論理的・平易・的確に説明し、発表または説得できる。]]

k) 技術理解力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 標準に関連する技術(対象技術、背景、効果、影響、技術内容、特徴、自社技術、技術用語、技術動向、技術議論、類似(周辺)技術、関連技術、競合他社の技術、製品中の使用技術、IPR ポリシー)で扱う技術、優位性を含む。)について技術開発できる程度に**最低限の範囲**で**掌握**し、説明できる。[[1]、業務を遂行できる。]]

l) 実務能力

次の細目を**3を含む2個以上**満たす。

- 1) 適切な時間管理の下で、業務に関する参照内容(自社の方針(ポリシー)、社内手続、社内以外の手続、動向、事例、課題含む。)を**最低限の範囲**で理解し、説明できる。[[1]、業務を遂行できる。]]
- 2) 業務の遂行に際して、参照内容に不備があった場合、その内容を報告することができる。
- 3) **リーダーの下で**、当該業務の遂行に際し、課題を発見し、解決することができる。

m) その他の能力(任意)

[[次の細目の0個以上を満たす。]]

[[1]]

11-2) レベル2

==業務評価指標==

a) 責任性

担当者(技術開発プロジェクト担当者等)として対応した。

b) 経験内容

次の細目の**1個以上を自律的**に行った実績または経験をもつ。

- 1) 標準化戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する特許の情報を収集または分析し、その侵害を回避する研究開発の企画、実施、または評価を行った。
- 2) 自社の標準化戦略に従って必須特許とするための権利評価および研究開発を積極的に推進した。
- 3) 自己の研究開発担当分野について、標準化戦略案または戦術への情報提供を行った。
- 4) 特定の研究開発テーマについて、標準化戦略の立案を行った。

c) 成果内容

次の細目の**1個以上**の実績または経験をもつ。

- 1) 経験内容に示す業務(個人、グループのものを含む。以下同じ。)の結果、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した。
- 2) 経験内容に示す業務の結果、当該事業、技術の市場規模またはシェアを広げることができた。発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した。
- 3) 経験内容に示す業務の結果、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた。
- 4) 経験内容に示す業務を主力製品(サービス)または重要な特定のテーマ(将来のものを含む。)について行った。
- 5) 経験内容に示す業務の結果が最終的には経営層、株主等に参照されるに至った。

d) 社内外貢献

次の細目の**1個以上**を行った実績または経験をもつ。

- 1) 後輩に対する育成指導または助言を行った。
- 2) 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
- 3) 社内外の講習会(一般、子供、大学、企業または業界向けのセミナー、勉強会含む。)における講師を担当した。
- 4) 社内外の委員会(関連業界、関連官庁の委員会含む。)にメンバーとして参画した。
- 5) 担当業務または規格について論文を執筆した。
- 6) 担当業務、製品もしくは規格に関する学会発表または展示会発表を行った。
- 7) 情報規格に関する情報、規格に関する解釈、互換性に関する情報、自己の業務の経験含む。)に関し、資料(新聞、雑誌、ウェブページを含む。)を作成し、または発信した。
- 8) 社内外関係者に対し、業務経験に基づくノウハウを提供した。

==業務能力評価指標==

e) 事業理解力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 企業戦略、事業戦略、研究開発戦略および知財戦略(オープンとクローズの戦略的使い分けを含む。)を理解し、関係のある標準化戦略を参照の上、自己の業務の位置付け(国内および国際の位置付けを含む。)を理解し、説明し、自己の業務に応用できる。
- 2) 自己の業務が、企業戦略、事業戦略、研究開発戦略および知財戦略(オープンとクローズの戦略的使い分けを含む。)となり、この関係のある標準化戦略に対して、どのように貢献できるかを理解し、説明し、提案できる。

f) コミュニケーション力

次の細目を**2個以上**満たす。

- 1) 関係者(部署外の関係者を含む。)から円滑に情報収集、共有および交換できる。
- 2) 関係者(部署外の関係者を含む。)にわかりやすく説明できる。
- 3) 関係者(部署外の関係者を含む。)からの説明を正しく理解することができる。
- 4) 関係者(部署外の関係者を含む。)と連携し、協働(すり合わせを含む。)できる。
- 5) 関係者(部署外の関係者を含む。)間で人脈を形成し、仲間作りをできる。

g) ネゴシエーション力

次の細目を**2個以上**満たす。

- 1) 交渉の場を設定できる(オフラインでの交渉アポ取り、場の設定を含む。)ができる。
- 2) 意見、主張等を説明し説得できる。
- 3) 意見または主張を引き出すことができる。
- 4) 争点を適切に把握し、合意形成に向けて提言できる。(相手の意見、立場、方針を尊重し理解し、自社の守るべきボトムラインを理解し、妥協できる項目の優先順位をつけること、研究開発部内での意見集約を含む。)

h) 企画力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 現状自社の標準化戦略を含む。)から課題を見い出し、その課題への独自の解決策(研究開発PJの企画または立案を含む。)を創出することができる。

i) リーダシップ

次の細目を**2個以上**満たす。

- 1) 所属組織(会社、団体、グループを含む。)の問題点または課題を認識し、運営の方向性(関係者の意識付、関係者の指導、協議の場を設ける、参加者の積極的な参加または意見表明を促す、異論または反論に対して適切に処置議論の分離、次の検討課題とする。)することをを含む。)を提示できる。
- 2) 異なる意見(各部門間の関係(各部門の戦略を含む。))、同業他社との競争共同関係、業界活動、国の標準化政策の違いを含む。)を新たな視点で、見直し、全員で合意できる目標を提示することができる。
[[3) 関係者の立場を尊重し、進むべき方向に沿って関係者間の信頼関係を築くことができる。]]

j) 表現力

次の細目を**2個以上**満たす。

- 1) 業務に関する参照内容(論文、対象となる標準、会議内容、会話、質問、意見、メール、電話、法令、手続、動向、事例、課題、およびその他の関連情報を含む。)を必要な言語で(専門用語を含む。))、情報交換できる程度に理解し、業務分析、調査を含む。)を遂行できる。
- 2) 規格文書作成のために、必要な言語で、必要ルール(Directive含む。)に沿って、意図を反映した記載ができる。
- 3) 業務関係者との意見交換、情報収集、情報共有、交渉、報告書作成、議事録作成、メール)を遂行するために、必要な言語で、明瞭・簡潔・論理的・平易・的確に文章で説明し(プレゼンテーション資料作成を含む。))、説得できる。
- 4) 業務関係者との意見交換、情報収集、情報共有、交渉、議事録作成、会話、発言、電話、プレゼンテーション)を遂行するために、必要な言語で、口頭で、明瞭・簡潔・論理的・平易・的確に説明し、発表または説得できる。

k) 技術理解力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 標準に関連する技術(対象技術、背景、効果、影響、技術内容、特徴、自社技術、技術用語、技術動向、技術議論、類似(周辺)技術、関連技術、競合他社の技術、製品中の使用技術、IPR ポリシー)で扱う技術、優位性を含む。)について技術開発できる程度に掌握し、説明し、業務を遂行できる。

l) 実務能力

次の細目を**3を含む2個以上**満たす。

- 1) 適切な時間管理の下で、業務に関する参照内容(自社の方針(ポリシー)、社内手続、社内以外の手続、動向、事例、課題含む。)を理解し、説明し、業務を遂行できる。
- 2) 業務の遂行に際して、参照内容に不備があった場合、その内容を報告することができる。
- 3) 当該業務の遂行に際し、課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む。))。

m) その他の能力(任意)

[[1] 次の細目の0個以上を満たす。]]

[[1]]

11-3) レベル3

==業務評価指標==

a) 責任性

リーダー(技術開発プロジェクトの責任者等)として対応した。

b) 経験内容

次の細目の**2個以上を主導的**に行った実績または経験をもつ。

- 1) 標準化戦略に沿って、自己の担当する技術分野に関する特許の情報を収集または分析し、その侵害を回避する研究開発の企画、実施、または評価を成功裡に行った。
- 2) 自社の標準化戦略に従って必須特許するための権利評価および研究開発を積極的に推進した。
- 3) 自己の研究開発担当分野について、標準化戦略案または戦術への情報提供を成功裡に行った。
- 4) 特定の研究開発テーマについて、標準化戦略の立案を成功裡に行った。

c) 成果内容

次の細目の**2個以上**の実績または経験をもつ。

- 1) 経験内容に示す業務(個人、グループのものを含む。以下同じ。)の結果、他社権利の侵害を回避する製品(サービス)を研究・開発した。
- 2) 経験内容に示す業務の結果、当該事業、技術の市場規模またはシェアを広げることができた。発明発掘会議において戦略上重要な特許を抽出した。
- 3) 経験内容に示す業務の結果、社内外の知的財産を応用して新規に研究・開発プロジェクトを立ち上げた。
- 4) 経験内容に示す業務を主力製品(サービス)または重要な特定のテーマ(将来のものを含む。)について行った。
- 5) 経験内容に示す業務の結果が最終的には経営層、株主等に参照されるに至った。

d) 社内外貢献

次の細目の**2個以上**を行った実績または経験をもつ。

- 1) 後輩に対する育成指導または助言を行った。
- 2) 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
- 3) 社内外の講習会(一般、子供、大学、企業または業界向けのセミナー、勉強会含む。)における講師を担当した。
- 4) 社内外の委員会(関連業界、関連官庁の委員会含む。)にメンバーとして参画した。
- 5) 担当業務または規格について論文を執筆した。
- 6) 担当業務、製品もしくは規格に関する学会発表または展示会発表を行った。
- 7) 情報規格に関する情報、規格に関する解釈、互換性に関する情報、自己の業務の経験含む。)に関し、資料(新聞、雑誌、ウェブページを含む。)を作成し、または発信した。
- 8) 社内外関係者に対し、業務経験に基づくノウハウを提供した。

==業務能力評価指標==

e) 事業理解力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 企業戦略、事業戦略、研究開発戦略および知財戦略(オープンとクローズの戦略的使い分けを含む。)を理解し、関係のある標準化戦略を参照の上、標準化に関する**組織全体の業務(自己の業務を含む。)**の位置付け(国内および国際的位置付けを含む。)を理解し、説明し、自己の業務に応用できる。
- 2) 標準化に関する**組織全体の業務(自己の業務を含む。)**が、企業戦略、事業戦略、研究開発戦略および知財戦略(オープンとクローズの戦略的使い分けを含む。)、ならびに関係のある標準化戦略に対して、どのように貢献できるかを理解し、説明し、提案できる。

f) コミュニケーション力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 関係者(部署外の関係者を含む。)から円滑に情報収集、共有および交換できる。
- 2) 関係者(部署外の関係者を含む。)からの説明を正しく理解することができる。
- 3) 関係者(部署外の関係者を含む。)と連携し、協働すり合わせを含む。)できる。
- 4) 関係者(部署外の関係者を含む。)間で人脈を形成し、仲間作りができる。
- 5) 関係者(部署外の関係者を含む。)にわかりやすく説明できる。

g) ネゴシエーション力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 交渉の場を設定できる(オフラインでの交渉アポ取り、場の設定を含む。)ができる。)
- 2) 意見、主張等を説明し説得できる。
- 3) 意見または主張を引き出すことができる。
- 4) 争点を適切に把握し、合意形成に向けて提言できる。(相手の意見、立場、方針を尊重し理解し、自社の守るべきボトムラインを理解し、妥協できる項目の優先順位をつけることを含む。)

h) 企画力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) **主導的に**、現状自社の標準化戦略を含む。)から課題を見出し、その課題への独自の解決策(研究開発PJの企画または立案を含む。)を創出することができる。

i) リーダシップ

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 所属組織(会社、団体、グループを含む。)の問題点または課題を認識し、運営の方向性関係者の意識付、関係者の指導、協議の場を設ける、参加者の積極的な参加または意見表明を促す、異論または反論に対して適切に処置議論の分離、次回の検討課題とする。)することを含む。)を提示し、**進捗管理し、評価**できる。
- 2) 異なる意見(各部門間の関係(各部門の戦略を含む。))、同業他社との競争共同関係、業界活動、国の標準化政策の違いを含む。)を新たな視点で、見直し、全員で合意できる目標を提示することができる。
- 3) **関係者の立場を尊重し、進むべき方向に沿って関係者間の信頼関係を築くことができる。**

j) 表現力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 業務に関する参照内容(論文、対象となる標準、会議内容、会話、質問、意見、メール、電話、法令、手続、動向、事例、課題、およびその他の関連情報を含む。)を必要な言語で(専門用語を含む。))、情報交換できる程度に理解し、業務分析、調査を含む。)を遂行できる。
- 2) 業務(関係者との意見交換、情報収集、情報共有、交渉、報告書作成、議事録作成、メール)を遂行するために、必要な言語で、明瞭・簡潔・論理的・平易・的確に文章で説明し(プレゼンテーション資料作成を含む。))、説得できる。
- 3) 業務(関係者との意見交換、情報収集、情報共有、交渉、議事進行、会話、発言、電話、プレゼンテーション)を遂行するために、必要な言語で、口頭で、明瞭・簡潔・論理的・平易・的確に説明し、発表または説得できる。

k) 技術理解力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 業務に関連する技術(対象技術、背景、効果、影響、技術内容、特徴、自社技術、技術用語、技術動向、技術議論、類似(周辺)技術、関連技術、競合他社の技術、製品中の使用技術、IPR ポリシー)で扱う技術、優位性を含む。)について技術開発できる程度に掌握し、説明し、理解に基づいて**業務に応用展開**できる。[[業務を遂行できる。]]

l) 実務能力

次の細目を**すべて**満たす。

- 1) 適切な時間管理の下で、業務に関する参照内容(素案またはプロジェクト提案に関する標準(団体の)作成要領(Directive)を含む)、標準化団体の概要(ISO、JISを含む。))、自社の方針(ポリシー)、社内手続、社内外の手続、動向、事例、課題含む。)を理解し、説明し、理解に基づいて**業務に応用展開**できる。[[業務を遂行できる。]]
- 2) 業務の遂行に際し、参照内容に不備があった場合、その内容を報告することができる。
- 3) 当該業務の遂行に際し、課題を発見し、解決を**主導することができる(下位のレベル者に対して指導)**ができる。

m) その他の能力(任意)

[[次の細目の0個以上を満たす。]]

[[1]]